

富士ダイス株式会社 (耐摩耗工具・金型製造販売業) の取組み事例: ロボットシステムインテグレーション人財育成計画策定

パターン① デジタル化の可能性検討

参加者

	社名	富士ダイス株式会社
	業種	耐摩耗工具・金型製造販売業
	事業概要	超硬合金の耐摩耗工具・ 金型の製造販売
	所在地 (都道府県)	東京都
	提供データ 種類	—
 参加した 受講生 の概要	チーム名	チームちび・adachi・ひとし
	チーム人数	3名
	スキル・PR	工場管理職、人財育成担当、 金融系コンサルと異なる職種 からなる3名です
	進める中で 工夫したこと	成果物を意識しながら、毎回 協議資料を準備し、深度のある 議論を実施しました

実施概要

課題内容

ロボットシステムを用いた自動化を目指しており、導入・運用を担える人財を育成したい
(自動化を目指す背景)

- 新卒人財の獲得難度上昇や社内人財の高齢化が深刻化
- 多品種少量生産ゆえに設備は長期保有傾向にあり、計画的に入れ替える必要あり



実施した検討内容

成果物として「実施計画書」を意識し、仮説を用意しながら双方向でブラッシュアップ

- 育成を行う人財像・期待する活躍領域の仮説を立て、認識が正しいか双方向で議論
- ロボットSlerスキル標準 (経済産業省) をもとに当社オリジナルのスキル標準を作成
- 「実際に提案を進めていただくにはどうしたらよいか」を考え、成果を意識して協働を実施



検討の成果

人財育成の前提事項を整理し、人材育成計画を提案する「実施計画書」を策定し納品

- 育成を行う人財像・期待する活躍領域を明確化
- 共通スキル・専門スキルに分解し、それぞれ7段階のスキル標準として整備
- 外部研修を活用した育成モデルをお示しし、投資効果を可視化のうえでロードマップにまとめることで、向こう3年間どのように導入を進めたらよいかの解像度を高めた